



早いもので、もう12月。コロナとの共存も出来てきて、行政などの会議も対面での開催となり、毎日あっという間に過ぎてしまった令和4年でした。みなさまはいかがでしたでしょうか？入所施設は、まだまだ面会が出来ず、寂しい日々が続いていると聞いています。施設によって少し対応が違う様子で、親の気持ちとしては足並みをそろえてほしいところですね。

先日の台風被害で洪水になってしまった静岡県の被害状況の報告が静岡県支部から届きました。いつ起こるかわからない災害なのですが、今回は断水。それも14日間も続いたそうです。水を確保しないといけない！でも、障害のある子をつれて水の配給車に並ぶのは困難だでしょう！と思っていたところに、断水の翌日には、全国本部より支援物資が届いたそうです。内容は重心の子に必要なものばかりで、その後すぐに形態食等が購入され、各家庭に配られたとの事でした。全国の会だからできる敏速な対応に感謝しつつ、守る会に守られていると感じた報告でした。

今年度の全国大会も中止になり、各ブロック大会も中止になる中、東海北陸ブロックは石川県で開催します。開催地の石川県支部も中止にするか迷われていたかと思いますが、みんなの顔を見て話し合いたい！と全国で一か所のみで開催となります。まさに”できることをやる！”です。大会が入稿後の開催なので、次回の会報で内容等お知らせしたいと思います。

愛知県にジブリパークができました！

リニモも、会場も車いすで移動できます。トイレ内の大型ベッドも5か所ではありますが設置してあります。とにかくワクワクがとまらないので、ぜひみなさまお出かけください。

レクレーションでも企画したいのですが、まだ大量のチケット確保が難しく・・・少々お待ちください

会長 高嶋みえ

みなさまから、会長ってどんな事してるの？と質問がありましたので、私の7月～11月の行動をお知らせします！

- ・共同募金配分金事業 メロン狩り
- ・愛知県医療的ケア推進委員会
- ・名古屋市施策委員会
- ・法人懇談会議
- ・障害区分認定委員会
- ・守る会理事会
- ・名古屋城再建説明会・ワーク会議
- ・名古屋市補助事業下見
- ・名古屋市要望書提出・対面懇談会
- ・名古屋市差別解消法委員会
- ・障害団体連絡会
- ・心身協（福祉大会）準備委員会
- ・ブロック専門部会長会議
- ・名古屋市博物館視察
- ・ジブリパーク内覧
- ・名古屋市補助事業リトルワールド
- ・母親部会座談会
- ・全国専門部会長会議

など

重心の息子と暮らしているのですが、時間は分刻みで予定しています。毎日忙しいですがたくさんの会議に参加させて頂き、みなさまの声を届けることができています。レクレーションでは、子どもたちの笑顔に癒され元気をもらって頑張っています。アジアパラ関係で、今いろんな施設がリニューアルしています。視察等で意見を聞いていただき、子供たちが行きやすい施設にするチャンスです！他団体の方々と協力しあい頑張っていきたいと思えます。みなさま、声を聞かせてくださいね。



豊田地区にて座談会を開催しました！

11月5日（土）豊田市にて座談会を開催し、集まった方たちと困っている事など意見交換をしました。短期入所先がない、というのは早々に困る事態になりかねません。座談会をきっかけに、みんなと頑張らなければいけないと、という言葉もあり、進めなければと感じました。次回はR5年2月4日（土）再び豊田市にて開催します。



豊田市駅前 イケバル豊田店にて

訓練会のお知らせ

R5年1月8日（日）、2月5日（日）、2月11日（土）、
3月5日（日）、11日（土）

参加費：300円

予約先：寺澤 090-7678-3700

土曜日13～16時 白石先生

日曜日10～16時 鵜飼先生

初めての方、大歓迎です。ぜひご参加ください♪

リレー随筆

あそびに行こうね！！

早川 弘子
陽子

陽子は昭和51年6月仮死で産まれて2日後にけいれんが出たので愛知県立コロニー中央病院に入院しました。3ヶ月たっても首がすわらずリハビリを始めました。

3歳から9歳まで北九州市小倉北区に住みました。小倉養護学校は小学部・中学部・高等部合わせても生徒数が100人もいないので一人一人に合った取り組みをしてくださり、陽子には、毎日給食前に先生が歯ぐき、ほっぺのマッサージをしてくれて、2～3年後には口を歪むことなく閉じることが出来るようになりました。

小学部4年からは名古屋に帰ってきて、休みの日には外の空気、風を肌で感じてほしくてスポーツ（サッカー、ラグビー、テニス、バレーボール、野球）を観に行ったり、コンサートにも行きました。

卒業後、むつみグリーンハウスに週2回デイサービスに通うようになりました。またショートステイを利用することを始め、ショート先も2ヶ所、3ヶ所と増やしていき、ヘルパーさんと地下鉄で通っていろいろな人たちと関わりながら大人になりました。

30歳を過ぎてからは母が体調を崩して入所を考えるようになりました。入所した時の為に食事の時間、お風呂の時間等を入所職員に聞いて、自宅の時間を少しずつ変えていきました。

2020年6月に入所したティンクルなごやでは朝、着替えの服を職員さんと選んだり、今日観る大好きな嵐のDVDを職員さんと相談して決めています。今はティンクルの外に遊びに行くことは出来ませんが、また行こうね！！ジブリパーク（長久手）に行きたくて、チケット無しでも行ける所を散策してきました。パーク内には、ユニバーサルトイレが北の案内所と北駐車場、青春の丘エリアや地球屋前にありました。ジブリの大倉庫内にもあるそうです。



今、ティンクルでの面会はオンラインと施設内でのビニール越しを選ぶことができます。面会時間は1回あたり10分です。希望すれば月2回できます。



今日観る嵐のDVDを職員さんと相談して決めています



東海市に重心施設にじいろのいえが開所しました！



守る会は重症心身障がい児者の地域生活に医療型の入所施設が必要であることを長年、県に訴えてきました。2017年前会長松田さんと理事とで知多半島にも重心施設が必要であることを訴え、2022年社会福祉法人大同宏緑会により重心施設が開所する運びとなりました。療養介護、医療型障害児入所施設、短期入所、生活介護、放課後等デイサービス、児童発達支援事業、相談支援など複合的に重症心身障がい児者を支援できる施設となります。



水野施設長と当会大塚副会長

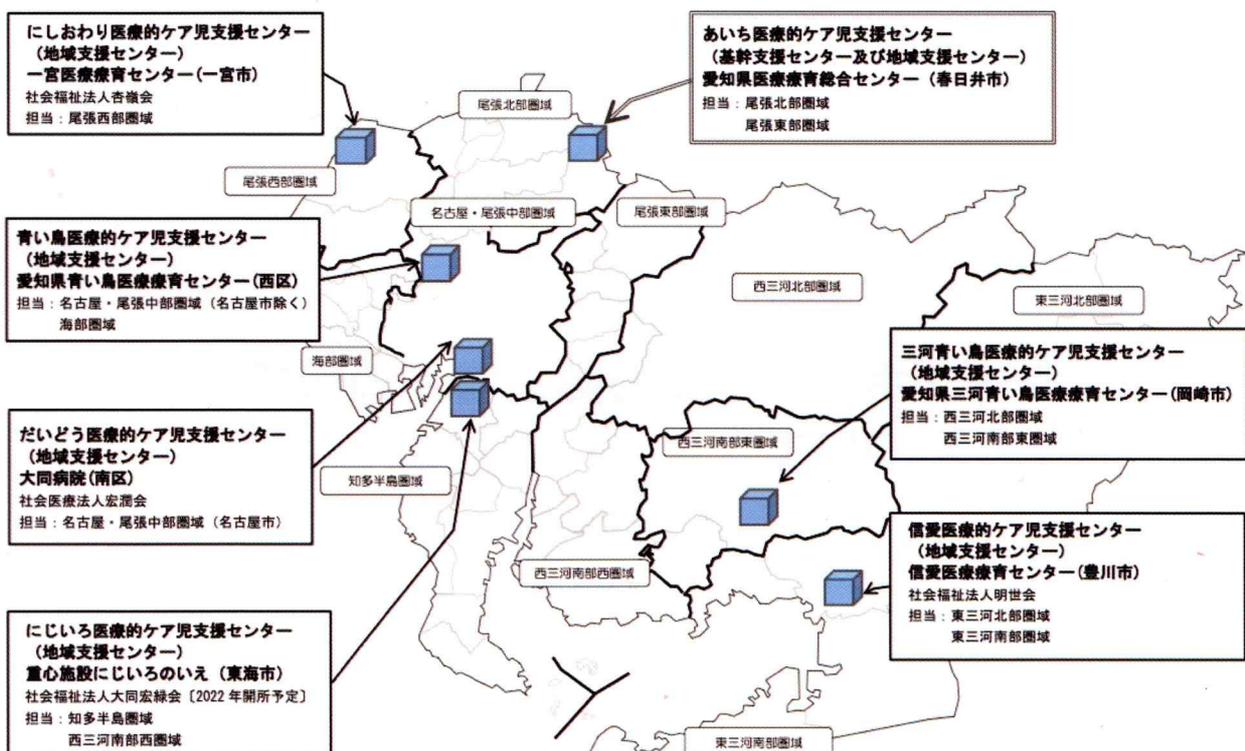


2022年4月より 県内に医療的ケア児支援センターが設置されました

※にじいろ医療的ケア児支援センターは12月より

医療的ケアが必要な子どもに対する支援体制の強化がされています。どんな相談でも良いと思いますのでどんどん活用していきましょう。

医療的ケア児支援センターの配置及び担当圏域





名古屋市に要望書を提出し、 10月11日に懇談会にて 意見交換をしてきました！



要望① 短期入所について

在宅で障害児者を介護する者にとって、短期入所はとても重要な制度です。日々の生活の中で、短期入所制度を使い、やっと在宅での生活を成り立たせています。何か月も前からの予約もなかなか取れないような状況に加え、コロナの感染を理由に利用が停止されることがあります。重症児者の短期入所は、入所施設やグループホーム等に併設している場合がほとんどであるため、会員から、短期入所用の居室がコロナ対応の居室に転換されるとの声が寄せられています。このことから、事業所においては、在宅の障害者は親が介護するからいいという疑念が生じます。必要だから予約していることが忘れられているのではないのでしょうか。

また、受け入れ対象を限定してい

る施設が多く、身体は重度だが、知的に少しくリアという障害者が利用できる事業所が極めて少なくたいへん苦慮しています。

以上のことから、併設の短期入所事業所の課題及び受入れの狭間にある障害者に関する当団体に寄せられる「声」について、貴市で把握されている状況をご教示ください。

さらに、当団体が認識する課題に対応できる事業所の充実に向けた制度若しくは仕組みの検討を要望いたします。

名古屋市回答①

本市では、国庫補助を活用し、重度障害者の受入れを行うグループホームや短期入所の設置促進を図っております。また、短期入所事業所における重症心身障害児

(者)の受入促進にかかる補助事業の実施など、施策の充実を図っているところです。今後は、ティンクルなごやにおける、在宅の重症心身障害児者及びその家族に対する相談支援体制の構築を進めること等により、在宅支援の更なる充実を図っていくことも必要であると考えております。

引き続き、関係機関や団体の皆様のご意見を伺いながら、重症心身障害児者の方とその家族が地域で安心して生活できるよう必要な施策を進めてまいります。

また、新規事業所の指定時には、障害種別を限定することなく、受入れ対象とするよう求めており、障害種別を限定する場合でも拡充の予定について聴取し、幅広く受け入れて頂けるよう努めております。

要望② グループホームで重心障害者が地域で暮らせるような制度づくりについて

近年、重い障害があっても地域で仲間と暮らしたいと思われる方が増えています。また、親がいなくても自宅と同じような生活で楽しく暮らすことはとても大切です。

ただし、現在のグループホームの制度では、重心障害者が地域で暮らすためには困難が多々あります。

以上のことから、重心障害者が地

域で暮らせるように、重心障害者を受け入れることができるグループホームの整備及び運営に向けた支援の検討を要望いたします。

名古屋市回答②

令和3年度報酬改定において、障害者の重度化・高齢化を踏まえ、GH事業所の重度障害者に対する質の高い支援を評価する改定が行われましたが、重症心身障害者が地域で自らに合った多様な社会資源を利用することができるよう、国の動向を注視してまいります。また、本市では、国庫補助を活用し、重度障害者の受入れを行うグループホームや短期入所の設置、促進を図っております。あわせて、グループホームにおける職員の複数配置や重度障害者の受入促進のための運営費補助を実施しているほか、生活介護事業所等における重症心身障害者等の受入促進にかかる各種補助事業も実施しているところです。

今後は、ティンクルなごやにおいても、在宅の重症心身障害児者及びその家族に対する相談支援体制の構築を進めること等により、在宅支援の更なる充実を図っていくことも必要であると考えております。

引き続き、関係機関や団体の皆様のご意見を伺いながら、重症心身障害者が地域で安心して生活できるよう必要な施策を進めてまいります。

要望③ 多目的トイレ内のベッドについて

公共交通機関（地下鉄、JR、名鉄等）、公共施設の多目的トイレ内のベッドの多くがベビーベッドの設置であるため、在宅の重症児者の外出時は大変苦労しています。

このことから、以下のことを要望いたします。

主要駅や大規模公共施設の多目的トイレ内のベッドをベビー用から誰もが利用できるユニバーサルベッド（介護用ベッド）に取り替えること

（現在、名古屋市営地下鉄構内の大型ベッド数は0）

民間施設においても設置が促進されるよう、助成金制度を創設すること

>ユニバーサルベッドが設置されていないトイレについては、最寄りのトイレに誘導する案内表示を設置すること

名古屋市回答③

本市の公共建築物等の整備指針である「福祉都市環境整備指針」においては、大型ベッドを設けることが望ましいとしているところです。

令和4年3月の一部改定に際しては、バリアフリートイレに大型ベッドを設ける場合の大きさや構造などの基準を加えて、適切な大型ベッドが設置されるように促す内容としました。引き続き、同指針に基づいた施設整備の推進を図ってまいります。

「福祉都市環境整備指針」の理念や技術的基準の普及啓発を図ることにより、障害の特性等に配慮され誰もが利用しやすいユニバーサルデザインの視点での整備が進むよう努めてまいります。

ウェルネットなごやのホームページにおいて、名古屋駅、栄駅のバリアフリーマップを掲載しており、大型ベッドの情報も掲載しております。



子どもから大人まで利用できる
ユニバーサルシート



要望④ 18歳以上の補装具相談について

現在、18歳以上の障害者が車いす等の補装具を申請する場合、名古屋市身体障害者更生相談所の一か所のみとなっています。名古屋市全域から集中するため、予約が取りづらい上、遠方になる方は多く、身体の大きい障害者を連れていくのはとても大変です。

診察をする医師の方も、今まで診察していないので、個人のこともわかってもらえず親や本人との意思疎通が難しく、利用者からの苦情相談項目となっています。

以上のことから、補装具の診断窓口を18歳以下と同じように主治医でも可能となるよう要望いたします。

名古屋市回答④

補装具の判定については申請種目や区分により、判定方法が異なりますが、義肢、装具、座位保持装置、車椅子（オーダーメイド及びモジュラー方式）、電動車椅子、特例補装具の新規申請等は原則来所判定が必要です。

上記のような来所判定が必要な申請についても、市内病院入院中や市内施設入所中、在宅で来所困難な方の申請については訪問診査が可能です。

また、重症心身障害者やその他特別な配慮が必要な方、入院中の方、施設入所中の方等については、医師の意見書等による書類判定も可能です。ただし、入院中の方の電動車椅子については、自宅の生

活環境、周囲の環境確認が必要であるため、原則退院後の訪問診察が必要です。

要望⑤ 重症心身障害児者支援者の養成について

重症心身障害児者の支援には、健康の維持・二次障害を予防する姿勢管理の視点や食事管理、さらにコミュニケーション方法など基本的なスキルを身に付けて関わる必要があります。研修の現状は、事業所独自に実施しているところもありますが、県医療療育総合支援センター主催の研修では参加できる人数が少なく全く研修をしないまま支援を行っている事業所もあります。また新人職員研修、中堅職員研修、指導者研修へスキルアップする研修体制にもなっていません。

現在、名古屋市内には1200名の重症心身障害児者が在宅で多くの支援に支えられながら暮らしています。支援に関わる訪問系（居宅介護）、通所系（児童発達支援・放課後等デイサービス、生活介護）、相談支援専門員、保健師、医療的ケア児等コーディネーターに対して各圏域の重心施設が中心になり研修の拡充が必要と考えます。

以上について、市独自の対策を講じていただくよう要望いたします。

名古屋市回答⑤

重症心身障害児者の支援者の養成については、主に障害児通所支援事業所・訪問介護・居宅介護等事業所で従事している方を対象に、障害特性や支援について学ぶ、ホームヘルパー現任研修を年1回（3日間）実施しております。本研修は、広報なごやや市ウェブサイト等で広報を行っておりますが、今後も周知・広報に一層努めてまいります。

懇談会を終えて

名古屋市との対面懇談も2年目になり、昨年度よりも踏み込んだ内容となりました。親身になって聞いて下さった行政の方々に感謝です。

対面でいろいろな事例、困ったことを話していく中で始めて発見することもあります。

これからも、続けていきたいと思えます。





愛知県地域活動振興事業

愛知県重症心身障害児(者)を守る会

いちご狩りのご案内

いつもの内海でいちご食べ放題!

もちろん、ランチはお洒落なカフェ♪

日時 : 令和5年1月29日(日) 定員40名

場所 : いちごの里 0569-62-1115
知多郡南知多町内海字奥鈴ヶ谷40-1

昼食 : ノアノア 0569-87-1704
知多郡美浜町小野浦岩成24

集合 : むつみ9時 ティンクル9時30分
現地10時45分

参加費 : 参加者 1,600円
障害児(者) 1,000円(変更あり)



☆スケジュール☆

11時 いちご狩り開始

12時30分 ランチ

いちご、ランチはペースト加工します。
胃ろうの子、お口から練習中の子も、
みんなと一緒にごはんが食べれます。
初めての方も大歓迎!



申込・問合せ: 担当 高嶋

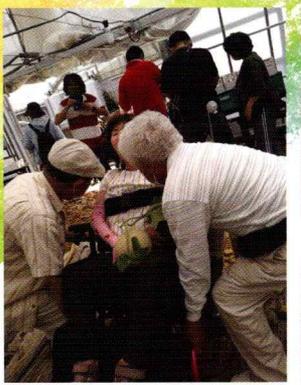
aichijyushinmamorukai@gmail.com

赤い羽根共同募金配分事業

メロン狩りに行ってきました～♪



メロン狩りに向かう道中は雨が降っていて天気が心配でした。でも到着する頃には雨も止み、メロン狩り&バーベキューが終わる頃に雨が降ってくるというミラクル！で皆さんのパワーで無事に楽しむことができました。



メロン
採ったよ～♪



ボランティアさんがお手伝いしてくれます。
初めての方でも大丈夫！ 次の企画の際はぜひご参加ください♪



名古屋市障害児郊外指導事業

リトルワールドに行って来ました！



トリックオアトリート♪
お菓子ちょーだい！



とってもいい天气に恵まれ、ハロウィンのせいかお客さんいっぱいのリトルワールドでした。ボランティアさんたち、優しいからみんながトリックオアトリート！っていう前にお菓子渡しちゃうんだもん（笑）